

令和 4 年度東京都手話通訳者等養成講習会
受講生選考試験・一次試験問題
(手話通訳者実践・手話指導者養成・手話通訳者指導者養成)

1 次の文で正しいものには○、誤っているものには×をつけてください。

- (1) 現在、東京都内には都立の聴覚障害特別支援学校が分教室を含めて 7 校と私立の 2 校があります。
- (2) デフリンピック (Deaflympics) は、ろう者のオリンピックとして、夏季大会は 1924 年にフランスで、冬季大会は 1949 年にオーストリアで初めて開催されています。
- (3) 「こえとら」は、NICT の高精度音声認識技術及び高品質音声合成技術を用いて開発されたもので、聴覚障害者が健聴者等との間で、文字と音声を互いに変換し合うことで円滑なコミュニケーションができるよう支援するアプリです。しかし、使える OS が限られています。
- (4) 日常生活用具給付事業とは市町村が行う地域生活支援事業の内、必須事業の一つとして規定。障害者等の日常生活がより円滑に行われるための用具を給付又は貸与すること等により、福祉の増進に資することを目的とした事業です。
- (5) 2021 年の第 204 回通常国会において改正障害者差別解消法が成立しました。これにより民間事業者においても合理的配慮が法的義務化されます。

2 次の文で () にあてはまる最も適切な語句を下記の枠の中から選び、文を完成させてください。

- (1) 東京手話通訳等派遣センターは 1973 年 (昭和 48 年) に設立された (①) が母体です。2002 年に社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会の事業所となりました。2007 年には、(②) 養成・派遣事業も開始しました。
- (2) 東日本唯一のろうあ児施設 (③) の事業を引き継ぎ、(④) 年 2 月に (⑤) が開所した。
- (3) 民間企業は従業員に占める障害者の割合を「法定雇用率」以上にする義務がある。民間企業の法定雇用率は (⑥) %。従業員を (⑦) 人以上雇用している事業主は、障害者を 1 人以上雇用しなければならない。
- (4) 9 月 23 日は国連が定めた (⑧) です。2021 年に結成 70 周年を迎える世界ろう連盟 (WFD) は 9 月最終週の (⑨) に合わせて 3 つのオンラインイベントを開催しました。
- (5) 全国で唯一調理師養成施設が併設されている (⑩) 学校が「第 14 回全国高校生食育王選手権大会」で初優勝し、第 7 回高校生スイーツコンテストに作品を出展し、391 作品中、準グランプリを受賞するなど、輝かしい成績を残しています。

ア = 手話言語の国際デー	カ = アレーズ秋桜	サ = 東京都手話通訳派遣協会
イ = 国際ろう者週間	キ = 金町学園	シ = 2021
ウ = 障害者週間	ク = 43.5	ス = 2022
エ = 葛飾ろう学校	ケ = 2.3	セ = 要約筆記者
オ = 立川ろう学校	コ = 東京都	ソ = 手話通訳者

3 次の事柄に関わる人名を下記の枠の中から選び、その記号を記入してください。

- (1) 全国手話通訳問題研究会（全通研）は、聴覚障害者福祉と手話通訳者の社会的地位の向上を目指して、手話や手話通訳、聴覚障害者問題についての研究・運動を行う全国組織です。全47都道府県全てに支部を置き、聴覚障害者団体と共に地域の福祉向上のための活動や学習を行っています。この組織の現会長を答えてください。
- (2) 各地の聾学校で教壇に立つかわら、社団法人日本聾啞協会理事として活躍し、のちの財団法人全日本ろうあ連盟の初代連盟長を答えてください。
- (3) 1968（昭和43）年に運転免許獲得大運動を大規模に展開し、運転免許裁判は、ある聴覚障害者が被告になった事件が始まりです。その結果、1973（昭和48）年に補聴器装着を条件とした警察庁通達をかちとりました。被告となった人物を答えてください。
- (4) 東京聴覚障害者自立支援センター聴覚障害者の社会参加を促進し、多様化するニーズに応えていけるようにするため、聴覚障害者主体による生涯教育と自立自助支援の場として、都内全ての聴覚障害者を対象とした支援事業を行う施設とすること、また、交流と情報提供を通して、よりよい人間関係と自立強調の精神を身に着けられる場とするとともに、災害時における支援活動の拠点ともすることを目的とする。2013年11月28日に公益社団法人格を取得し、公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構東京聴覚障害者自立支援センターとして、組織及び事業改編がなされた。この法人の現理事長を答えてください。
- (5) 社会福祉法人全国手話研修センターは、一般財団法人全日本ろうあ連盟、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、並びに全国の手話サークルが「手話の拠点」としての願いを込めて2002（平成14）年に設立しました。この法人の現理事長を答えてください。
- (6) ろうあ者として全国初の村長になり、昭和9年から12年間、旧小黒村（現上越市安塚区）の村長として人望厚く務められた人物を答えてください。
- (7) 1875（明治8）年、京都市待賢小学校でろうあ学級を開設し、わが国で最初のろう教育を行いました。これが発展し、1878（明治11）年5月24日に京都盲啞院が発足しました。この京都盲啞院を創設した人物を答えてください。
- (8) 指文字は大阪府立聾啞学校の教諭がアメリカ視察で学んだ指文字を持ち帰り、数名の教諭で検討を重ねて1931（昭和6年）に制定しました。指文字を持ち帰った人物を答えてください。
- (9) 口話法教育者・滋賀県聾話学校初代校長。耳が聞こえない娘に口話法での発音指導をし、それを修得した娘と共に口話法の啓蒙活動を行いました。この人物を答えてください。
- (10) ろう者にとっての手話の重要性を認識し、口話法に向く者には口話法を、手話法に向く者には手話法を用いる「適正教育」を主張し、口話法を支持する教育者たちの間に激しい論争を繰り広げた。この人物を答えてください。

ア = 古河 太四郎	カ = 黒崎 信幸	サ = 石野富志三郎
イ = 横尾 義智	キ = 渡辺 正夫	シ = 高田 英一
ウ = 高橋 潔	ク = 高岡 正	ス = 粟野 達人
エ = 西川 吉之助	ケ = 樋下 光夫	セ = 相川 浩一
オ = 大曾根 源助	コ = 市川 恵美子	ソ = 藤本 敏文

令和4年度東京都手話通訳者等養成講習会
受講生選考試験・一次試験問題「解答用紙」
(手話通訳者実践・手話指導者養成・手話通訳者指導者養成)

受験番号 (4ケタ)

1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

2

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

令和4年度受講生選考試験 一次 読み取り問題

手話通訳者実践クラス 全文読み取り

手話指導者養成・手話通訳者指導者養成クラス 設問

読み取り 1問 「朝のカフェ」

コロナ（禍）の前、築地本願寺のカフェに朝早く着くと、すでに列ができていた。事前に整理券を配っていた。今は、方法が変わりインターネットで予約ができるようになった。2つの時間、朝8:00～と9:30～のどちらからか選べることができる。私は、当然9:30からを選んだ。（予約した）

カフェに行ったのは、6月1日。カフェに到着すると、ガラガラ。すぐに店に入れた。（お店の人に）名前を伝えると、予約があることを予約台帳で確信してくれ、その後席に案内された。席で待っていると料理が運ばれてきた。それを見てびっくりした。ごはんとお味噌汁と合わせて全部で18品もあった。おかずはしょっぱかったが、ご飯がお代わり自由だった。私は2杯もおかわりした。十分におなかが満たされました。（おなかがいっぱいになりました）